

令和5年度第2回坂出市地域公共交通活性化協議会会議録

日 時	令和6年1月16日(火) 15時00分～16時30分
場 所	坂出市役所本庁舎2階大会議室
出 席 者	<p>(委 員)</p> <p>宮崎耕輔副会長【議長】、淵田竜輔委員、紙本尚幸委員(十川裕史委員代理)、山本健一委員、川滝浩嗣委員、入江正憲委員、松浦佳子委員、川崎泰弘委員、上野智弘委員、池内丈史委員、河田幸治郎委員、山下勝久委員、林尚志委員、渡邊茂樹委員、鷺岡宗利委員 以上、15名</p> <p>(事務局)</p> <p>政策課 大野課長、福崎課長補佐、亀井主事</p>
欠 席 者	<p>(委 員)</p> <p>土井健司会長、松下将史委員、浦田俊一委員、中川高弘委員、中原光喜委員 以上、5名</p>
オブザーバー	谷岡拓海(四国運輸局)
傍 聴 者	なし
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和5年度運行の実績報告と分科会実施報告について</li> <li>(2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について (地域内フィーダー系統)</li> <li>(3) 利便増進事業等の経過報告について</li> <li>(4) その他</li> </ol> </li> <li>3. 閉会</li> </ol>

会 議 概 要

(1) 令和5年度運行の実績報告と分科会実施報告について

発 言 者	発言要旨
事務局	<p>《資料に基づき説明》</p>
副会長 (議長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済の利用率が低いという話があったが、これが直ちに良くないという話ではなく、全国の事例を見ているとアプリ決済利用者はやはり若い方が多い。坂出のバスの利用者は高齢者や高校生がメインであり、そう簡単に普及するものではないので、落胆する必要はないという意見を分科会でも申し上げた。</li> <li>・むしろこれまで全く利用していなかった 20代 30代 40代 50代の方が、毎日の利用でなくても、これをきっかけに月に1回または年に数回でも乗っていただくと機会が増えれば、母数も多い世代なので利用者は増えてくると思う。</li> <li>・交通事業者からも現状報告をいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JRの利用状況として、昨年度と比べると今年度の利用は増えている。ただし、コロナ前までには回復しておらず、9割弱といったところ。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスの利用状況は増えつつあるが、コロナ前には届いていない。</li> <li>・一方、物価高騰や乗務員不足等による人件費増で、費用が増えてきているため、収支率が悪化している。</li> <li>・計画目標の生活利便施設へのアクセスについて、循環バス西ルートを宇多津のスーパーセンターにアクセスするようにしたが、店側からも店舗前での停車に協力いただけそうな雰囲気である。</li> <li>・キャッシュレスについて、スマホ QR と紙プリペイドの利用率を比較するとスマホ 6割、紙 4割であった。高齢者が多いので紙プリペイドがもっと増えると思うが、まだ不安があるのか十分に使われていない。</li> <li>・非常に良い取り組みだと思うので、坂出市と協力して普及推進を図りたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川津デマンドについては、コロナ前から利用が少ないが、さらに少なくなった。</li> <li>・認知度も低いと思われるので、PRしていきたい。</li> <li>・乗用タクシーについては、運転手が高齢で退職する人がいるのに対して、入社が少なく、配車が十分にできていない時もある状況。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンドの MIRAI 病院追加で利便性が向上したが、上り下りの時刻設定が複雑で利用しにくい時間帯もあり課題を感じる。</li> </ul>

<p>副会長 (議長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済については、割引があることもあるので、紙プリペイドの利用が思っていたよりも多い印象。</li> <li>・乗用タクシーについて、5類になって回復している印象。</li> <li>・利用者は増えているが、労働時間の問題もあり、深夜帯の運行はできていない。 JR 最終便の時間に電話が鳴っても対応できないということがある。2024 年問題でさらに厳しくなると思う。</li> <li>・資料ベースと事業者さんからの報告ということで、回復傾向にあるということだが、坂出の場合はたくさん取組をしていてそれが功を奏したところもあると思うので、引き続き公共交通の便利さを分かってもらえるような取組をお願いする。</li> </ul>
---------------------	---

(2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

発 言 者	発言要旨
事務局	<p>《資料に基づき説明》</p>
副会長 (議長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業評価について補足になるが、これは地域内フィーダー系統として国の補助を受けて運行しているものについて、協議会で自己評価を行うもので、国に提出後、第三者評価委員会にかかる。</li> <li>・様々な取り組みをされているので、令和 6 年度事業からの今後の改善点など記載事項が多岐にわたっている。</li> <li>・概ね A 評価となっているが、既に廃止となっている循環バス中ルートなどは、利用が少なく国庫補助落ちという結果も出ているため B 評価となっている。</li> <li>・それを踏まえて、修正意見等はあるか？</li> </ul>
副会長 (議長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に特にご意見がなければ、事務局案で進めていければと思うがいかがか？</li> </ul>
各委員	<p>《異議なしにより承認》</p>
副会長 (議長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、資料をベースに事務局で手を加えていただき、国へ提出いただければと思う。</li> </ul>

(3) 利便増進事業等の経過報告について

発 言 者	発言要旨
-------	------

事務局	<p>《資料に基づき説明》</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンドタクシーについて、現在地域が限られており、私の住んでいる地域では路線バスが運行しているが、地域でデマンドタクシーを運行してほしいという要望があれば対応いただけるものか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のデマンドタクシーについては、平成 22 年度策定の坂出市地域公共交通総合連携計画に基づき、当時路線バスが通っていない公共交通空白地域であった地域に対して運行を開始したという経緯がある。</li> <li>・今後については、昨年度地域公共交通計画を策定し、計画では地域にとって最適な移動手段を検討していくということになっている。</li> <li>・この地域には、路線バスが適している、デマンドタクシーが適している、あるいはその他の移動手段が適しているなど、各地域にとってどういった移動手段が適切かということはこの協議会でもご議論いただき、将来的に地域に合った持続可能な公共交通を目指していければと思っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直しの時期などは決まっているか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通計画の期間としては、令和 10 年度までとなっているが、公共交通を取り巻く状況も年々変化しているので、適宜地域のかたの意見を協議会であげていただき、協議が調ったものから順次実施していければと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全域でデマンドが運行していれば一番良いと思うが、年数が経つにつれて、社会情勢や地域の状況も変わってくるので、そういった声を取り上げてほしい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで様々なかたからご意見を伺っている中で、同じ地域のかたでもご意見が異なる部分もある。</li> <li>・例えば路線バスが運行している地域のかたで、路線バスが便利だというかたもいれば、デマンドタクシーのほうが良いというかたもいる。</li> <li>・逆に、デマンドタクシーが運行している地域のかたで、なぜ自分たちの地域には路線バスが運行していないのか？と不満を持つかたもいる。</li> <li>・そのように両方の相反する意見があるなかで、地理的状況など様々な状況も加味しながら、各地域にとってどういった形態が最適かということを議論していく必要があると思う。</li> </ul>
副会長 (議長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的には、定時定路線のバスは予約がいらないので楽だという考え方もある。</li> <li>・事務局から説明があったように現在のデマンドタクシーが運行している地域は、路線バスが運行していなかった地域に、運行されたもので、バス停のように乗</li> </ul>

<p>副会長 (議長)</p>	<p>降場所も指定されていて、予約をしないと運行しないものという不便さもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的には、従来定時定路線バスが運行していた地域で、バス利用者が減少し、バス路線として維持が難しくなった場合に、予約制のデマンドタクシーに移行するというケースが多い。</li> <li>・どちらが良いかという意見は様々あると思うが、事務局の説明のように、地域の意見や、地理的状況など様々考慮しながら、協議して決めていく必要があると思う。</li> <li>・一方、坂出のデマンドタクシーについては、10年以上前に運行を開始したもので、古いままの仕組みもあり、ニーズも変わってきているなかで、見直す点もあると思う。事業者のみなさんからご意見をいただいているので、引き続き改善を図っていければと思う。</li> <li>・地域公共交通計画策定時に出た課題としては、デマンドタクシー運行開始当初の高齢者は、公共交通で中心部に出かけていた傾向にあるが、現在の高齢者は中心部に限らず買い物は近場でという傾向が窺えたところ、その移動ニーズが上手く満たせていないということもあった。</li> <li>・例えば、府中地区であれば、隣接する飯山や国分寺にというニーズがある一方で、その解決策は見つかっていないというのが現状であり、そういった課題認識はされているので、引き続き検討をお願いします。</li> </ul> <p>・議題3は利便増進実施計画を策定した後の取り組み状況の報告であったが、これで終わりというわけではなく、引き続き事業を展開していくことになるので、みなさま方のご協力をお願いします。</p>
---------------------	---

(4) その他

発 言 者	発言要旨
副会長 (議長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河田委員からその他の議題があると聞いているので、説明をお願いします。</li> </ul>
河田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、スミレタクシーとして東山魁夷美術館行きの乗合タクシーを運行しているが、運転手不足の影響もあり、スミレタクシー1社の運行ではニーズに対応しきれない部分も出てきている。</li> <li>・グループ会社の四国タクシーとしても運行することにより供給量を確保し、ニーズにスムーズに対応できると考えているので、四国タクシーによる乗合タクシー運行について協議会で承認いただきたい。</li> </ul>
副会長 (議長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシー事業者が新たに乗合タクシーを運行するにあたり、協議会で承認を受けることにより、スムーズに運輸局の許認可手続きが進むので、そういった提</li> </ul>

	<p>案になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先ほど河田委員からご提案があったように、グループ会社での運行ということで運行に支障はないと思われる。</li> <li>供給台数が増えることで安定的に運行できるということで、美術館行きの路線なので、市民が利用するというはあまりないかもしれないが、観光のかたを中心に便利になると思う。</li> <li>委員のみなさんでご異論がなければ承認いただければと思うがいかがか？</li> </ul>
各委員	<p>《異議なしにより承認》</p>
副会長 (議長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>それでは、異議なしということで今後の手続きをお願いします。</li> <li>他に、その他としてご発言はあるか？いろいろと資料も添付いただいているので、何かあるか？</li> </ul>
池内委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス運転手不足が深刻化しており、チラシを作成して乗務員募集をしている。</li> <li>みなさんのお近くに興味がある人がいらっしゃったらご紹介いただきたい。</li> <li>コロナ前 80 名だった乗務員が 66 名まで減っている。</li> <li>次の 4 月から「2024 年問題」ということで、労働環境も改善しなければならないなかで、乗務員数を増やしていかなければならない。</li> <li>大型二種免許を持っている人が減っているということもあり、大型二種免許をもっているかたには支度金制度を用意したり、もっていないかたには免許取得支援を行ったりしている。</li> <li>11 月には、バスの体験乗車会も実施した。</li> <li>女性の乗務員も増えてきており、車両のオートマ化など運転しやすさに配慮している。</li> <li>乗務員不足で来月から、空港リムジンバスの始発便について運休となっている。</li> <li>乗務員不足により、路線バスについても、系統再編に取り組みなければならない時期が来る可能性もあり、乗務員確保に努めていきたい。</li> </ul>
副会長 (議長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗務員不足が全国で深刻化しているが、他業種と比較した乗務員の待遇の悪さも影響していると思われるので、待遇改善も必要と思われる。</li> <li>これは坂出だけでどうこうできる問題ではないが、みなさんの共通認識として持っていただき、徐々に働きやすい環境になれば良いと思う。</li> </ul>
山下委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>チラシをお渡ししているように、共創モデル実証運行事業の採択を受けて、A I デマンドタクシーの実証実験、G X/D Xということで、電気自動車・太陽光パネルを導入している。</li> <li>参加者数はあまり多くはなかったが、地域説明会を開催して意見も伺っている。</li> </ul>

<p>議長 (副会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「デマンドタクシーがあることで、安心できる」という 60 代女性のかたの意見や、「学生向けに早い時間や遅い時間の運行を検討してほしい」という意見などがあった。</li> <li>・システムの課題としては、最近のシステムがフルデマンドを意図したもので、坂出のデマンドとの親和性が低いと感じている。</li> <li>・今後の検討として、運行時間帯の弾力化や、学生が利用しやすい時間帯の設定などで利便性向上を考えてはどうかと思う。</li> <li>・2011 年からデマンドタクシーを運行しているが、利用者のほとんどは高齢者で、雨の日の通学などの利用もあってよいと思うが、学生の利用がほとんどない。</li> <li>・他にも、市かいご課とKBNで実施している、高齢者の買い物支援実証実験の配送を王越地区で実施している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他ご発言がなければ閉会としたいと思う。</li> <li>・みなさんのほうで本当にたくさんのことに取り組みされていて、ご報告いただく事項も多かった。</li> <li>・コロナを経て社会情勢が大きく変化しているので、そこにどのように対応して交通ネットワークをどうしていくか、また最終的にはどのように坂出を住みやすいまちにしていくかということが大切となってくるので、引き続きみなさま方のご協力をお願いします。</li> </ul>
---------------------	--

以上